

平成18年度 伊丹市行政評価 ～事務事業評価編～

※事務事業名に【新規】の表記があるものは、H18年度から新たに開始された事業、【未実施】の表記があるものは、「これから5年間のまちづくりプラン」に位置付けがあり、H19年度以降に事業開始が予定されている事業。
※本記載内容は、評価表作成時点（H18年8月）のものであり、その後の状況変化などにより、公表時点において実施時期や事業費等が変更になっている場合があります。

事務事業コード	132307		あり、H19年度以降に事業開始が予定されている事業。 ※本記載内容は、評価表作成時点（H18年8月）のものであり、その後の状況変化などにより、公表時点において実施時期や事業費等が変更になっている場合があります。					
事務事業名	保健医療計画の策定事業			担当部局・課	健康福祉部 健康福祉課			
事業内容	保健医療計画のPRと保健推進協議会の開催により計画の推進を図る。又、保健医療計画については、10年ごとに策定し、必要に応じて見直しを図る。現「第2次保健医療計画」の終期はH22年度までのため、H22年度に計画策定作業を実施予定。			事業開始(予定)年度		A		
				平成12年度				
				事業終了(予定)年度				
この事業の上位施策	これから5年間のまちづくりプラン	視点	支え合いでつくる「安全・安心」のまちを実現			評価結果 上位施策に対する貢献度は高く、現行のまま継続する。		
		項目	きめ細かな地域福祉の推進					
		施策	市民の健康づくり推進					
	⇒「これから5年間のまちづくりプラン」は、「第4次伊丹市総合計画」の後期5か年(H18～22年度)に計画的に取り組むべき具体的事業等を明らかにした事業実施計画です。 行政評価の実施にあたっては、各事務事業をこの計画体系に沿って整理しています。							
事業の目的	市民の健康を取巻く現状を明らかにし、課題の解決に向けた計画的な取り組みを推進するため保健医療計画を策定し、市民と行政が一体となって市民の健康づくりを推進し、「健康都市・伊丹」を構築する。			予算費目 (複数の費目にまたがる場合は、主な費目を表示しています。)	(款) 衛生費 (項) 保健衛生費 (事項) 老人保健事業費 (目) 保健指導費			
事業費等の概算	平成17年度(決算)			平成18年度(予算)				
	事業費	5,000千円	財源内訳		事業費	1,065千円	財源内訳	
			国・県補助金等	5,000千円			国・県補助金等	—
			市債	—			市債	—
			その他(使用料等)	—			その他(使用料等)	—
			一般財源(市税等)	—			一般財源(市税等)	1,065千円
	投入人員	1.00人	⇒年間を通じてこの事業に投入される人的資源を概算により算出しています。算式で表すと次のようになります。 =担当課職員数×(当該事業の仕事量÷課の全仕事量)		投入人員	0.61人	⇒年間を通じてこの事業に投入される人的資源を概算により算出しています。算式で表すと次のようになります。 =担当課職員数×(当該事業の仕事量÷課の全仕事量)	
	人件費	8,566千円	⇒年間1人あたり平均人件費に投入人員をかけて積算したものです。		人件費	5,225千円	⇒年間1人あたり平均人件費に投入人員をかけて積算したものです。	
経費合計	13,566千円		経費合計	6,290千円				
活動指標	指標名(単位)	指標なし			計画と実績	年度 区分	H17年度	H18年度
	意味・算式等	—				計画値	—	—
						実績値	—	—

評価結果	A
	上位施策に対する貢献度は高く、現行のまま継続する。

上記評価結果は、事務事業の活動状況などに関する評価に同一施策内での各事務事業の相対的な評価等を加味して総合的に評価したものです。